

JR貨物第1四半期決算

(4月～6月期)

単体成績経営成績

営業利益 △5億円

(2019年 31億円)

鉄道事業

経常利益 △7億円

(2019年 29億円)

営業収益 311億円

(2019年 342億円)

営業利益 △34億円

(2019年 △0円)

関連事業

営業収益 40億円

(2019年 44億円)

営業利益 24億円

(2019年 26億円)

経常利益 △12億円

(2019年 23億円)

四半期純利益 △8億円

(2019年 15億円)

連結成績経営成績

営業収益 441億円

(2019年 479億円)

2021年3月期の業績予想は合理的な算定が困難だと見做した。島田修社長は記者会見で「かつて経験したことのない厳しい決算」と述べた。

北海道地区本部 第35回定期大会報告

8月22日(土)札幌市・北農健保会館にて『第35回地区本部定期大会』を開催しました。宝田執行委員の開会挨拶で始まり資格審査・大会成立を確認し、大会議長には、札幌機関区分会の田中代議員を選出し議事が進められました。

地区本部を代表して挨拶に立った菊地委員長は、「はじめにコロナ禍で奮闘している組合員に敬意を表し、大会もコロナウイルス感染防止に細心の注意を払い規模縮小・短時間開催でしっかりと意思統一を図るとして、①貨物会社の経営状況 ②安全の確立 ③組織強化・拡大 ④政策課題の4項目について、新型コロナウイルス感染症拡大により、JRグループ各社は多大な影響を受けている。JR貨物は政府からの要請で「指定公共機関」として通常の運行を継続してきたが、過去に経験のない減収となり、コロナ後の社会変容への対応策も含めて、本

部はJR連合と共に要請活動を行っている。

安全の確立は最重要課題だが、会社発足以降の重大事故の責任と教訓を踏まえ、悲劇を二度と繰り返さない決意を固め、「安全は絶対に譲らない」という信念のもと、安全最優先の職場をつくらなければならない。入換不良・信号違反・速度超過・虚偽報告など、様々な事象が日々起きている現実を重く受け止めなければならない。

組織拡大については、良識ある他労組組合員を私たち貨物鉄産労に結集をさせ、民主化闘争完遂に向け全組合員が邁進していかねばならない。簡単ではないが地区本部を先頭に全組合員が組織拡大を意識して行動していく。

政策について、新型コロナウイルス感染症に対する国が施行した政策で、指定公共機関としての社会的責任を果たしたなどの受損については、経営が存続できるような減税・税の繰り延べなどを働きかけている。

今年、マルチテナント型物流施設の第3弾として「DPL札幌レールゲート」を着工し2022年5月に完成予定であり、2030年北海道新幹線札幌延伸後も鉄道で札幌まで輸送しなければならぬ。JR貨物の3割の荷物が北海道に渡ることから、青函トンネル共用走行問題と並行在来線問題は早急に政策誘導し解決しなければならぬ最重要課題であり、JR連合の「JR二島・貨物経営自立実現PT」では、先見性ある提言を政府、北海道、並行在来線となる道南に強く訴え理解を促すも、体力的にも脆弱であることから、税制支援措置はまだ必要であり、鉄道強靱化等を含め、今後もJR連合と連携を密に図り、政策活動を展開していく」と力強く述べられました。

その後、中央本部大杉委員長から、コロナ禍の会社の経営動向・交通政策課題等について挨拶があり、小森執行委員より祝電・メッセージ披露のあと、浦島副委員長より2019年度経過報告、協約・協定締結承認、吉永書記長より2020年度運動方針(案)、その後、2019年度決算報告、2020年度予算(案)が提案され、質疑に入りました。

代議員からは、「新人事賃金制度について」「被服が足りない。補充してほしい」「若手・中堅の離職者が増えている。」

理由は？」「シニア社員の働き方について」「職種・系統別のアンケート調査を実施し要求に」など多くの意見が出され、執行部より答弁をし、吉永書記長による集約答弁をおこない2020年度運動方針は満場一致で承認されました。

その後、中井執行委員が大会宣言(案)を提起し、満場一致の拍手をもって採択され、最後に、菊地委員長による団結ガンバロ―で定期大会を終了しました。大会に結集されました組合員の皆さん、大変ご苦勞様でした。今後、各職場において今大会で提起された方針に基づき共に頑張ります。



菊地委員長



団結ガンバロ―

東北地区本部第35回定期大会の報告

8月26日(水)、秋田市内において、新型コロナウイルス感染症防止のため、ソーシャルディスタンスの確保・手の消毒・検温等の対策をした上で、貨物鉄産労東北地区本部第35回定期大会を開催しました。秋本執行副委員長の開会の挨拶ではじまり、資格審査結果を報告し大会成立が宣言され、議長には執行部より佐藤執行委員を議長に選出し、議事が進行されました。

執行部を代表して挨拶に立った小笠原執行委員長は、貨物会社との情勢、新人事賃金制度、安全問題、組織関係等の挨拶後、当組合員、秋本副委員長が出席して在席している秋田臨海鉄道が来年3月をもって事業終了することになり、今後の処遇を全面的にバックアップしていく。そして、秋田臨海事業終了になるため、来年の秋田地区のダイヤ改正は列車本数の減など重要な改正になり、組合開示がありしだい直ぐ団交を取る体制に入る。組合員においては、コロナ対策・熱中症対策を万全とし、業務においては安全最優先で行って頂き、JR連合・貨物鉄産労運動の正しさを伝えて行く為にも出来る限り現職を長く勤め、頑張ります。と締めくくりました。次に、祝電・メッセージが披露され、足利書記長より経過の報告、2020年度の運動方針(案)の提起2019年度の決算報告、2020年度の予算(案)の提起を行った後、質疑、応答が

なされ、執行部からの集約答弁後、すべての議題が満場一致で承認されました。その後、鈴木執行委員の大会宣言を採択後、小笠原委員長の「団結ガンバロ―」で大会を終えました。



小笠原委員長



団結ガンバロ―

JR連合執行委員会を開催

8月25日、京都市内において新型コロナウイルス感染症防止対策を確保した上で開催し、大杉委員長が出席しました。組織・政策・政治、コロナ対策等、諸課題が多くある中、今後の取り組み方針を真摯に話し合いました。

JR連合 男女平等参画推進委員会・安全対策委員会を開催

8月17日、都内において新型コロナウイルス感染症防止対策を確保した上で開催し、辻村書記長が出席しました。会議では今後の取り組み方針を真摯に話し合いました。

JR連合第27回賃金実態調査実施について

「中期労働政策ビジョン(2019〜2023)」で設定した賃金目標や世間水準等との比較・検証を行い、2021年春季生活闘争方針の策定をはじめとした労働政策議論に反映すべく、第27回賃金実態等調査を実施します。業務多忙の中ではありますがご協力をお願いします。取り組み方につきましては、各地区本部の指示に従ってください。

対象賃金は、2020年9月分の月例賃金とします。

JR連合 教育広報担当者会議・組織担当者会議を開催

8月26日、京都市内において新型コロナウイルス感染症防止対策を確保した上で開催し、辻村書記長が出席しました。会議では今後の取り組み方針を真摯に話し合いました。

JR連合青年・女性委員会「第29回定期総会」の開催について

本定期総会については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、3密を極力回避するため、インターネット環境によるLive形式で開催します。また、招集範囲も幹事会役員、総会委員、来賓のみ(JR連合基本組織)を基本とし、交流会は開催しません。関係者のご理解とご協力をお願いします。

・日 時
2020年 9月12日(土)
13:00〜17:00

・開催形態
大阪市内の会場をメイン会場に設定し、メイン会場には、幹事会役員、一部大会役職員のみを招集し、総会委員、特別総会委員については各々がオンラインで参加し、Live形式で開催します。